



やまた

議会だより

No. 134
2012.2.1発行

役場屋上から見た山田地区



豊間根保育園のみずき団子づくり

ごあいさつ

議長 昆 暉雄

明けましておめでとうございませう。

平成24年の年頭にあたり、山田町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

昨年3月11日に発生した大震災により、本町では大津波と同時に火災も発生し、町史始まって以来の壊滅的な被害を受けました。あらためて、犠牲になられた皆さまに深く哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

本町では過去にも津波などで甚大な被害を受けながらも、先人たちの熱意と汗により多くの苦難を乗り越えてまいりました。

私どもは今回の大震災も、町民の英知と不屈の情熱により、必ずやこれを克服し、町民が安心して暮らせる、活気のある山田町が復興することを信じていますので、何とぞ、本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

補正予算審議



12月定例会の様子

一般会計に36億8000万円を追加

水産業関係に多額の補助金を交付

12月定例会は、12月13日、14日の2日間の会期で開かれました。一般質問（3部〜7部に掲載）には5人が登壇し、復旧・復興について質問。町からは条例の改正、平成23年度補正予算など9件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し、2日間の会期を閉じました。

一般会計の補正予算で主なものは次のとおりです。

- ▽水産振興費（共同利用漁船等復旧支援対策事業費補助金） 29億3680万円
- ▽水産振興費（水産業経営基盤復旧支援事業費補助金） 7億3218万円
- ▽水産業施設災害復旧費（災害復旧工事費） 3億5000万円
- ▽山田町復興まちづくり基金積立金 6000万円

議決議案ダイジェスト

条例関係

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正
国、県の例に準じて一般職の職員の給与等を改定（引き下げ）しました。

予算関係

- 一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認
5,200万円を追加。総額320億4,467万円。
（反対討論があり、賛成12、反対3で承認されました。）
- 一般会計補正予算（第6号）
36億8,131万円を追加。総額357億2,598万円 ほか5件

人事案件

- 人権擁護委員の候補者を推薦
人権擁護委員の候補者として菊地久美子さん（60）＝船越＝（新任）を推薦しました。同委員は、人権相談や人権思想の普及・啓発などを行います。

議員発議

- JR山田線宮古・釜石間の鉄道による早期復旧を求める意見書
JR山田線宮古・釜石間の復旧にあたって、鉄道を堅持して早期復旧を図るよう、JR東日本に対して指導、支援を行うことを国に要望しました。

反対討論

一般会計補正
予算（第5号）
の専決処分

山崎泰昌 議員

今回の専決処分は、寄付金の使い方、補助金の出し方に不明瞭な点がある。町民が困窮している中で、公平が保たれないような予算の使い方について納得できないので、承認できない。

町の考えを聞く



金融機関などが利用している旧山田病院



本木敏明議員

復興計画

津波シミュレーションは非現実的

そんな情報は見ていない

質問 町の復興計画では大沢・柳沢地区は基本的に従来どおりの土地利用である。しかし県は浸水シミュレーションは非現実的で不正確であり、今回並みの津波では、再建した防潮堤でも冠水は免れないとしている。町長の見解は。

沼崎町長 そのような情報は見ていない。同じく県によると、

最大級の津波が防潮堤を越流した場合、防潮堤は破壊され形はなくなると想定している。町の考え方とかなりの隔たりがあるのでは。

植田技監 町の計画では防潮堤のほかに避難路などを整備し、ハード・ソフトの両面での防災を考えている。
質問 防潮堤の耐用年数は約60年とも言われている。

◆ 学校給食について
◆ 防災行政無線について
◆ 10年後の山田町の規模について

そのほかの質問

議員5人が一般質問

病院再建

山田病院は旧跡地へ

全く考えていない

また、県は10月の住民説明会で示した50メートルの底幅防潮堤案を白紙としたが、規模は縮小になると思われる。こうした点から防

潮堤への過度の期待による土地利用計画は見直すべきでは。

沼崎町長 住民説明会での50メートル底幅というのは県の担当課長の個人的発言であり、それを根拠に計画を作っていない。県も新たな防潮堤案を検討中と聞いている。

質問 町長はこれまで現在の山田病院を改修し再利用すると明言してきたが、旧山田病院（八幡町）は今回の地震・津波・火災という大震災から被害を免れた。安全が証明されたこの場所を移転先にしては。

沼崎町長 町の復興計画に県立病院の位置を盛り込むことはあり得ない。旧山田病院は震災前に議会との協議の上、図書館や歴史資料館としての利用を計画している。

質問 旧山田病院は、新たな中心市街地計画とも隣接し、超高齢化時代を迎え利

その上で議会と地域医療を守る会との連携を図りながら、旧山田病院利用計画との関連を踏まえて調整し、県に要望していきたい。



尾形英明議員

道路整備

豊間根地区道路整備を早急に

次期発展計画で対応検討したい

質問

① 県道宮古・山田線の工事に対する今後の町の考え、取り組みは。

② 堂ヶ鼻1号線（豊間根郵便局前道路）の拡幅と排水側溝整備の可能性は。

③ 三陸北部森林管理署用地（豊間根中学校近辺の道路）の町道認定と改良舗装は。

沼崎町長

① 国道との重要なアクセス道路として、関係機関と一体となって整備促進を図っていきたい。

② 県道との交差点については地権者との協議を進め、対応可能か検討する。全線拡幅の計画はない。

③ 用地等の関係で整備できなかった。最近では居住者も増えてきたことから整備について検討する。

土地利用

地籍調査の迅速な実施を

進捗率は33%、民間委託も考える

質問

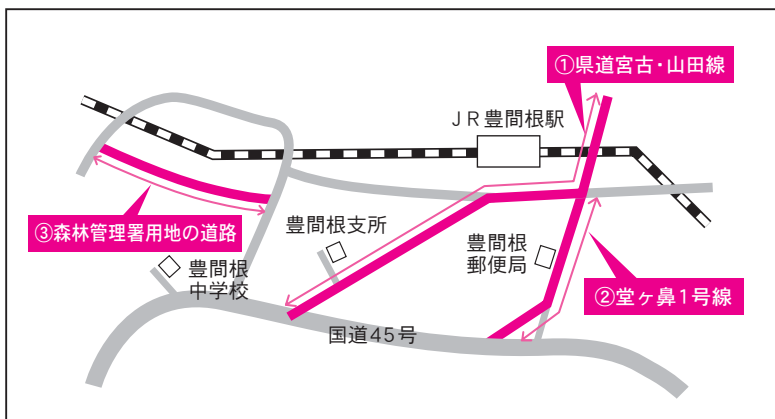
① 地籍調査の進捗率は。また、完了までに何年かかるか。

② 被災した場所の地籍調査を実施しないのか。

沼崎町長

① 進捗率は平成23年度末で

町の考えを聞く



県道宮古・山田線、堂ヶ鼻1号線、森林管理署用地の道路

約33%の見込みである。完了までに約60年かかる。② 国の復興交付金による実施を予定しており、早ければ来年度から実施を考えている。今後の対応としては民間業者への委託を考えている。

【こたへ】
【地籍調査】

土地の各筆ごとの境界、面積、所有者、地目及び地番に関する調査・測量を行う。国土調査にはほかに、土地分類調査と水調査がある。

県内町村の子どもの医療費無料化状況

小学校入学まで 無料	小学校卒業まで 無料	中学校卒業まで 無料	高校卒業まで 無料
山田町、滝沢村、紫波町(注1)、西和賀町、矢巾町、大槌町、岩泉町、洋野町	葛巻町(注2)、金ヶ崎町	雫石町、岩手町(注3)、平泉町、住田町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村	一戸町

注1 7歳に達する日以後最初の3月31日まで
注2 12歳に達する日以後最初の3月31日まで
注3 15歳に達する日以後最初の3月31日まで



木村洋子 議員

医療支援

宮古病院に通う入院患者家族の支援は

自己負担が原則

質問 県立山田病院が津波で被災したため、現在は入院施設のない診療所での外来診療が行われている。入院施設を持つ山田病院の一日も早い復旧を願うのは、町民の一致した気持ちであると思う。この間、入院となると宮古病院というケースが多い。町内に入院施設がないため宮古病院に入院

せざるを得なかった患者の家族は、経済面等の負担が大きい。大浦地区では宮古病院へ通うのにバスを利用すると三千元程かかる。病状によっては頻繁に通わなければならぬ場合もある。町として支援策を考えるべきでは。

沼崎町長 入院患者への見舞いについては自己負担が

そのほかの質問

- ◆ 仮設住宅に入居している一人暮らしの高齢者の世帯の状況と支援について
- ◆ 個人病院と介護福祉施設との再建の見通しについて
- ◆ 船を流された漁民への支援策について
- ◆ 二重〇んの実態・申請状況について

議員5人が一般質問

医療支援

子どもの医療費の無料化は

国の動向を注視していく

原則と考えるので、町としては考えていない。

質問 このことは震災のため生じた事態であり、本来

は山田病院に入院できたはずである。遠方に住んでいる人は本当に大変である。福祉バスやタクシーの利用等を含めた支援を考えるべきでは。

里館健康福祉課長 現在のところ支援について考えていない。

質問 住民税の16歳未満の人に対する扶養控除が平成24年度分より廃止となり、子育て世代への負担がさらに増えると思われる。子育て支援として子どもの医療費無料化を。

沼崎町長 基本的には国の施策であり、社会保障制度改革の動向を注視しながら機会を捉え国に訴えていく。

質問 高校生になると病気はめつたにしくなるが、受診が遅れると病気が長引き学業に支障をきたしたり

後遺症が残ることがある。受診を遅らせないために医療費の窓口負担をなくすことが有効と考える。未来を担う子どもの健やかな成長を願い大切に育てていくためにも、ぜひとも考えてほしい。子どもの健康を守ることに長い目で見れば医療費の軽減につながるのでは。

豊間根国保介護課長 県内で医療費を高校卒業まで無料にしているのは一戸町のみである。町としては機会あるごとに助成の拡大を国や県に要望していく。



黒沢一成議員

公園整備

前須賀を海水浴場に

荒神の機能充実図る

質問 浦の浜から前須賀の間は、がれき置き場となっているが、以前のように町内外の人たちの憩いの場として復興することを切に願う。前須賀を海水浴場として再利用できないか。

また、防潮林は広葉樹を植え散策ができる公園のようにできないか。

沼崎町長 前須賀は県に

よって整備される防潮堤の構造がはつきりしない現段階では、海水浴場として再利用が可能か判断できない。

震災前の海水浴場は船越湾側に荒神、山田湾側に浦の浜と大島の3カ所あった。荒神海水浴場は、県が被災施設の撤去を本年度中に実施し、平成24年度はト



荒神海水浴場は復旧させる予定です

町の考えを聞く

イレの整備を進めるようだ。船越湾側と山田湾側のバランスもある。荒神海水浴場の機能充実を図ることが合理的と考える。

学校給食

船越小に給食室を

実施するなら全校一斉

質問 大津波で被災した船越小は、現校舎の脇の山を削って建設することになったが給食室を併設できないか。津波以来、校舎併設型が見直されているのでは。また、国の補助も復興においては手厚いと思うが。

沼崎町長 学校給食はセンター方式で10校を一齐に実施したいので、船越小への給食室の併設は考えていない。

学校を応急避難場所・コミュニティ再生の拠点とするなどの視点から社会教育

防潮林は県が津波災害の復旧工事を実施する。松は広葉樹より塩害に強く砂地でも生育が良かったため、黒松を植える予定とのこと。
質問 防潮林は倒木で道をふさぐことや、ブッシュで見通しが悪くなるなど防犯上の問題を考慮して整備を望むが。

千代川農林課長 問題点については県に要望する。

施設との複合化、近接化の方向性は示されている。船越小は全壊扱いで、高い所に移すことが認められたが、以前なかった給食施設までは複合化も含めて整備範囲に入っていない。また学校施設の災害復旧については町の負担はほとんどなしとなりそうだが対象外工事はこの限りではない。

岩船教育長 優先順位から見ても、まず船越小の建設が急がれる。その後、給食センターについて論議されるべきである。



豊間根信議員

三陸縦貫道

豊間根地区インター整備と開発について

詳しい内容が現時点では未定

質問 東日本大震災において道路網整備の重要性をつくづく感じた。三陸沿岸道路(三陸縦貫道)の急速な整備に伴い豊間根地区にインターチェンジが整備されるとのことであるがその内容は、

また、豊間根地区は県における遠野市同様、沿岸の後方支援基地的な位置づけとなる重要な場所として周辺開発・整備等をすべきと思うが計画はいかがか。

沼崎町長 本道路については現在、測量調査、地盤調査について住民説明会を行ったばかりで、詳しい内容等については把握できていない。周辺開発・整備計画については道路計画等の状況がはっきりしていないので現時点では未定である。

質問 インターチェンジの形態についての詳細は、

阿部建設課長 仙台方面への出入りのみでき、宮古方面への出入りはできない。

質問 それでは片手落ちではないか。命を守る道路であるので、どちらの方向へも出入りできるように強く要望をさせていただきたい。

阿部建設課長 具体的に国から計画を示されていない。今後協議していく。

議員5人が一般質問

震災対応

反省と検証に基づき復興を

調査実施し検証中

質問 前定例会の中で3・11の反省と検証について質問したが、町災害対策本部としては、組織体制や各部署における分掌事務等について検証するとの答弁であった。

部分的にはなく総合的に

にしっかりと反省と検証をしていかなければ、「二度と津波による犠牲者を出さない」という理念に沿った復興計画に結びついていかないのでは。

町長 町災害対策本部としての反省と検証について、

町内7支部の支部長、副支部長会議を10月31日、各部の副部長会議を11月11日に開催し、現在、その検証について進めている。

また、職員全員に災害対応実態調査を実施している。



新設される三陸沿岸道路(三陸縦貫道)の予定ルート(国土交通省東北地方整備局のホームページに掲載されています)

小林隆議員が逝去



故小林隆さん

町議会議員の小林隆さん（織笠・69）が12月29日に伐採作業中の事故によりお亡くなりになりました。小林議員は平成15年4月に初当選以来、3期9年にわたり町民の代表として活躍されました。2期目からは教育民生常任副委員長として、町民の

福利厚生、教育問題などの課題に積極的に取り組まれました。また、山田町消防団本部分団長として、今回の東日本大震災でも対応に尽力されました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈りいたします。



町民との意見交換会開催

議会では12月10日、11日に町民との意見交換会を開催しました。町内9カ所を3班にわかれて実施。約100人の町民が参加しました。詳しい内容については後ほどご報告する予定です。



武徳殿で行われた意見交換会の様子

議員出欠表

◎病気入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月 日	本会議種別	欠席者等氏名
12月13日	第4回定例会	欠席者等なし
12月14日	"	欠席者等なし

議会広報編集特別委員会

議長 黒崎 一輝
副議長 山崎 泰昌
委員 尾形 洋子
委員 坂本 英明
委員 本村 正明

あ
と
が
き

▼震災から10カ月が過ぎ新年を迎えました▼あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、仮設住宅や借家で不便な生活を強いられている皆さまにお見舞い申し上げます▼昨年を表す漢字に「絆」が選ばれましたが、私にはもう一つ「縁（えにし、えん）」という言葉が心の中にあります。被災当時はもちろん、いろんな「縁」で知り合った人達に助けられたり励まされ、今でも生活や仕事等、多くの場面で協力、応援されています。皆さまにも心当たりがあるはずです。私たちを支えてくださる方々の願いは、我々の一日も早い生活再建だと思います▼つらい事、苦しい事が多くあると思いますが着実に一歩、そして二歩目へと町民一体となり前進していきましょう。町の将来のため、いろんな提言を行ってまいりますので、本年もよろしくお祈りいたします。（山崎）